

2. 都市空間デザイン計画

2-3

(3) 交流広場（交通広場）イメージ

スケッチと写真は全てイメージ

■街中の円形劇場

交流の位置エネルギーが強く感じられるデザイン「ケ」の時は観水施設に、「ハレ」の時には舞台に。デッキは、歩行空間であり、観覧席であり。デッキと対象に配置される列柱のオブジェ（照明施設）。特異な求心性を感じられる空間デザイン。



■水辺を眺める語らいの場

“水・緑・歴史と出会う広場”を眺め、地区で活動する様々な人が語らい、憩う場として、広場との一体的な利用も考慮した商業機能の配置。

■周辺を眺める展望橋

緑のある石塘や石塘堰、石組で設えた春日橋。水辺広場で展開される催しやイベントなど、様々な展望場に活用される橋。坪井川両岸を連絡し散策路の利便性も充実。

■水・緑・歴史と出会う広場

豊かな自然や歴史性を醸し出す水と石と緑のデザイン
 ・石塘や石塘堰、歴史的な土木構造物をオブジェとした趣ある広場。
 ・温か味の感じられる石畳と木質系材によるデッキ。
 ・イベント開催の機能を備えた広場。
 ・舟運の船着場としての広場。



■風を感じる葉音の緑

豊かな自然や歴史性を醸し出す、石と緑の組合せデザイン
 ・熊本の歴史文化の一つである石組を、土留壁の修景に活用したデザイン。
 ・壁に囲まれた空間特性を活用して、段々畑風の植栽棚を設置し、風にそよぐ心地よい葉音が楽しめる、水と石と風の広場を構成する。



東A地区市街地再開発事業建築物

■空間的分節化

再開発ビル駐車場へのアプローチ
 アメニティー軸を横断する施設。
 坪井川沿いの舟運歴史ゾーンとにぎわい広場ゾーンとの境界に位置づける。
 近代化遺産のレンガ構造イメージのデザインとして配置。

■眺めのよい階段

新外線から坪井川に降りる階段と眺めのよい横詰広場。

